

### 第3回（2015年10月17日）ゆうゆう館グループまとめ

- 誰のためにどんなことを解決する機能を持つ施設があるとよいのか  
⇒地域住民（児童、高齢者、働く世代）のため。『本大久保のコミュニティ維持』
  
- コミュニティ維持のための機能
  - オープンでつながれる場所
    - ・会議室、多目的室 ⇒ないと地域の崩壊になってしまう！
    - ・フィットネスクラブ ⇒事業としてあってもいいのではないか。
    - ・工作室、作業室 ⇒すべての地域の人が使える場所
    - ・カフェ、居酒屋 ⇒昼と夜で変化すると面白い。
  
  - 養老保育
    - ・学童、保育所 ⇒杉の子こども園の人達を呼び込むような
    - ・託児所、老人ホーム ⇒併設するなど
    - ・こども園、富士見公園との連携
  
  - 関連する事例
    - 豊島区 RYOZANPARK「子育てビレッジ」（働く世代が安心できる）
    - 江東区 江東園（子供と高齢者が繋がる）
    - 船橋市 凜童舎
    - 都内 まちの保育園
  
- 地域に対して挙げた意見
  - ・住んでいる人が利用することが第一
  - ・セキュリティ面（送迎システムなどの充実）
  - ・防災機能の完備
  - ・環境問題（木、草など）
  - ・安全かつきれいであること
  - ・シェアハウス、カーシェアリングは敷地上できない
  - ・町内会でやっていたことができたら（機能の維持）
  - ・やはり市からの補助が欲しい
  - ・あの（ゆうゆう館がある）土地には何が必要か考える事から
  - ・敷地に当てはまる条件は何か
  - ・次のコミュニティに活かしていくような提案を。

